

科目区分	専門分野 I	授業科目	基礎看護方法論Ⅶ (罨法・包帯法・感染予防・吸引・吸入)
講師名	山田 淳子	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次 後期
<p>目的： 感染に関する基礎的な知識と診療補助技術である無菌操作・包帯法・罨法・吸入、吸引に関連する知識・技術・態度を学ぶ</p> <p>目標： 1) 感染対策に関する基礎的な知識を理解し、感染予防策を実践できる 2) 苦痛の緩和、安楽確保の技術を理解することができる 3) 創傷治癒のために創傷管理・創傷処置、無菌操作を理解することができる 4) 吸入、吸引に関する基礎的な知識を理解することができる</p>			
回	時間	講義内容	
1	2 講義	感染防止の技術 感染予防の基礎	感染とその予防の基礎知識 標準予防策
2	2 演習	感染防止の技術 感染予防策の実際	手指衛生 個人防護用具(PPE)
3	2 講義	感染防止の技術	感染経路別予防策 洗浄・消毒・滅菌 無菌操作
4	2 講義	感染防止の技術 創傷管理技術	感染性廃棄物の取り扱い 針刺し防止策 医療施設における感染管理 創傷管理の基礎知識 創傷処置
5	2 講義	創傷管理技術 包帯法の基礎 呼吸・循環を整える技術	創傷処置 1) 包帯法 末梢循環促進ケア 1) 弾性ストッキング
6	2 講義	苦痛の緩和・安楽確保の技術 罨法の基礎	罨法 身体ケアを通じてもたらされる安楽
7	2 演習	創傷管理技術 包帯法の実際 苦痛の緩和・安楽確保の技術 罨法の実際	包帯法の実際 1) 巻軸包帯 2) 三角巾 罨法の実際 1) 湯たんぽ 2) 氷枕

8	2 演習	感染防止の技術 滅菌物の取り扱いの実際	滅菌物の取り扱い（基礎）
9	2 演習	創傷処置の実際	滅菌物の取り扱い 無菌操作（環境を整える）
10	2 演習	創傷処置の実際	創傷処置（消毒・ガーゼ交換） 消毒薬の希釈液の作り方
11	2 講義	呼吸・循環を整える技術 吸入の基礎知識	酸素吸入療法 吸入 人工呼吸療法
12	2 講義	呼吸・循環を整える技術 吸引の基礎知識	排痰ケア （体位ドレナージ・吸引） 胸腔ドレナージ
13	2 演習	呼吸・循環を整える技術 吸引・吸入の実際①	酸素吸入療法・酸素ポンベの取り扱い 吸入（ネブライザー吸入）
14	2 演習	呼吸・循環を整える技術 吸引・吸入の実際②	吸引（口腔内・気管内吸引） 胸腔ドレナージ（低圧持続吸引器）
	1	無菌操作技術チェック	技術チェック（評価表を用いて）
	1	単位認定試験	筆記試験
講義方法		講義、演習	
評価方法		単位認定試験	
テキスト		1) 医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅰ，基礎看護技術Ⅰ 2) 医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅰ，基礎看護技術Ⅱ 3) メディックメディア：看護がみえる①基礎看護技術 4) メディックメディア：看護がみえる②臨床看護技術	
備考		事前学習あり ・各授業前に、配布資料、テキスト及び参考文献を一読し、予習する ・参考文献は、配布資料に明記 リフレクションあり ・各授業後に、自己評価し自己の課題を明確にする レポート課題あり	